

2019年12月23日

No. 19 - 370

株式会社 伊予銀行

シンジケートローンの組成および「伊予成長支援ファンド」から融資を実施！

～今後の経営方針に合わせた資金調達をサポート～

株式会社伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、三木特種製紙株式会社様（愛媛県四国中央市、代表取締役社長 三木 雅人様）とのシンジケーション方式のコミットメント期間付タームローンを実行して組成し、合わせて「伊予成長支援ファンド」から融資（資本性ローン）を実施しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行は、効率的に資金調達ができるシンジケートローン等を通じて、三木特種製紙株式会社様の今後の経営方針に合わせた資金調達をサポートします。

記

案件概要

項目	内容	
実施日	2019年12月23日	
融資形態	シンジケートローン (コミットメント期間付タームローン)	伊予成長支援ファンド (資本性ローン)
組成金額	37億円	4億円
資金使途	不織布製造装置及び付帯設備に係る設備資金	
アレンジャー	当行	
エージェント	当行	
参加金融機関	国内金融機関3行	

企業概要

項目	内容
企業名	三木特種製紙株式会社
本社所在地	愛媛県四国中央市川之江町156番地
業種	特殊紙及び湿式不織布製造業
設立	1953年2月

設備投資概要

項目	内容
実施場所	愛媛県四国中央市川之江町271番1（本社隣接地）
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> 当社は、今後、世界的に需要の増加が見込まれる水処理膜支持体の増産体制を構築するため、本設備投資を実施されます。 水処理膜支持体は、当社の主力製品の一つであり、海水の淡水化、飲料水の確保等に使用される水処理膜の基材となるものです。

以上

<シンジケートローン>

複数の金融機関がシンジケート団を組成し、同一の契約書に基づき同一条件で信用供与を行うものです。お客さまにとっては、一度にまとまった金額の調達が可能となることで、借入の事務コストが削減でき、調達基盤の確保・拡充が図れるなどのメリットがあります。

信用力を得ている企業が対象となるため、取引先に対する信用力の向上につながります。

<伊予成長支援ファンド>

当行と株式会社日本政策投資銀行様（代表取締役社長 渡辺 一様）が共同出資し、新規事業の展開や事業承継などにおける企業の成長をサポートすることを目的に、2016年1月に設立したファンドです。

<資本性ローン>

銀行借入と普通株式との中間に位置するローンで、負債ではなく、資本とみなすことができる借入金のことです。事業拡大や財務基盤強化を企図する成長企業などが活用しています。